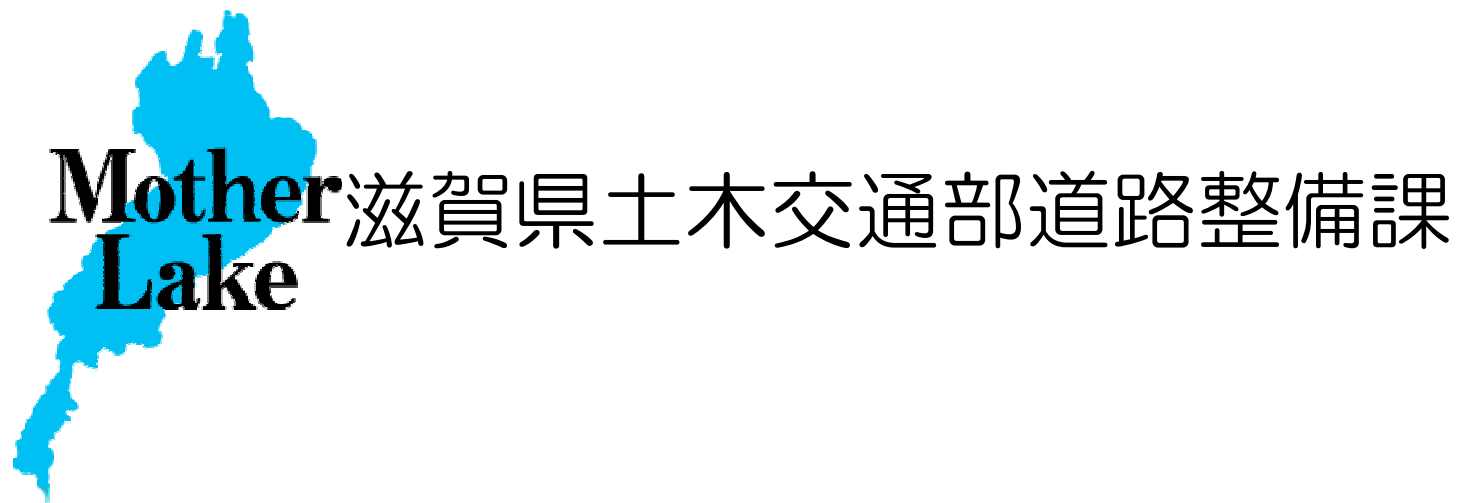


## 社会資本整備総合交付金（中間評価）

Pa54 霊峰伊吹山と天下分け目の武将の息吹を感じる、  
岐阜・滋賀周遊観光振興による広域的地域活性計画

Pa55 海山湖の魅力を地域活動と広域交通網で向上する  
福井・滋賀広域観光活性化計画



# ◆滋賀県の道路整備方針

## 滋賀県道路整備アクションプログラム2018の概要

### 【改築事業】（99箇所）

#### 宇治田原大石東線（龍門（新名神SIC）工区）

- 新名神高速道路（大津～城陽）の供用にあわせたスマートインターチェンジの整備



#### 大津能登川長浜線（栗東・草津工区）

- 交通渋滞の緩和を目指し、国道1号（栗東水口道路1）と連携して、まちづくりの根幹となる道路ネットワークを構築



#### 国道307号（長野バイパス工区）

- 市街地の渋滞解消と新名神高速道路 信楽インターチェンジへのアクセス改善



#### 国道421号（佐目工区）

- 大型車のすれ違いが困難な道路の拡幅



#### 木之本長浜線（森・祇園工区）

- 幅員が狭い箇所の整備および渋滞交差点の改良
- 通学路の安全確保のため、あわせて歩道を整備



#### 五番領安井川線（安曇川工区）

- 幅員が狭く老朽化した橋梁の架けかえ
- JR安曇川駅へのアクセス改善



### 【交通安全事業（歩道整備、交差点改良）】 （89箇所）

#### 川合千田線（千田工区）

- 通学路の安全確保のため、踏切前後の歩道を整備



### 【街路事業】（14箇所）

#### （都）原松原線（原・古沢工区）

- 交通渋滞の緩和を目指し、国道306号のバイパスを整備



# ◆滋賀県の道路整備方針（交付金制度の活用）



## 将来20年間における道路整備の基本方針

### 滋賀県道路整備マスタープラン

(H14策定→H23見直し)

- ① 県内産業の活性化と地域文化の交流
- ② 誰もが安心・安全に暮らせる優しい県土の実現
- ③ 環境負荷の軽減と個性と潤いのある生活空間の創造
- ④ 地域の自立的発展と不安のない暮らしの創出

具体化

## 将来10年間の道路整備計画

### 滋賀県道路整備 アクションプログラム

(H15策定、H19,H24,H29,R4に見直し)

### 透明性の確保、県民との約束

- 厳しい財政状況の中、「**選択と集中**」による重点化を図り、地域に**真に必要な道路を優先して整備**

※現アクションプログラムは、H30年度～R9年度の10年間の道路整備計画として、H30年.3月に策定。

活用

アクションプログラムに基づき計画的に事業を進めていくために

### 社会資本整備総合交付金

- 国土交通省が平成22年度に創設した交付金（地方公共団体向けの個別補助金を一本化し、地方公共団体の自由度を高めた交付金制度）



# ◆ 広域連携事業の概要

## 事業の趣旨

広域にわたる人の往来又は物資の流通を活発にする民間等の活動を通じて地域を活性化することを目的に、基盤整備事業等をタイミング良く実施するための事業

### 【制度概要〔社会資本整備総合交付金（広域連携事業）〕】

- (1) 根拠法：広域的な地域活性化のための基盤整備に関する法律（平成19年法律第52号）
- (2) 交付対象：都道府県（市町村等への間接交付も可）
- (3) 対象事業：複数都道府県が連携して作成する広域的な地域活性化基盤整備計画（社会資本総合整備計画に記載）に基づく基盤整備事業等
  - ① 基幹事業：広域的な特定活動を推進するために必要な基盤整備事業 ※  
※都道府県が実施する道路、鉄道、空港、港湾、公園、下水道、河川、住宅等及び提案事業
  - ② 関連社会資本整備事業：基幹事業と一体的に実施することが必要な社会資本整備事業
  - ③ 効果促進事業：基幹事業と一体となってその効果を一層高めるために必要な事業等
  - ④ 社会資本整備円滑化地籍整備事業：基幹事業に先行又は併せて実施する国土調査法第6条の4第1項に規定する地籍調査であって、社会資本整備の円滑化に資するもの
- (4) 交付期間：3～5年程度
- (5) 交付率：①基幹事業 = 最大45%  
②③④関連事業 = 個別の法令に規定がある場合以外は1/2
- (6) その他：
  - ・整備計画全体をパッケージで採択
  - （特徴等）
    - ・整備計画内の他事業に国費の流用可
    - ・年度途中で事業費が変更となった場合、年度間で国費率の調整可
    - ・都道府県自らが目標を設定し、事後評価・公表

# ◆ 広域連携事業の概要

## 社会資本総合整備計画と広域的地域活性化基盤整備計画





# ◆滋賀県の広域連携事業の地域図

海山湖の魅力を地域活動と  
広域交通網で向上する  
福井・滋賀広域観光活性化計画  
(長浜市北部、高島市)

連携先: 福井県

霊峰伊吹山と天下分け目の  
武将の息吹を感じる、  
岐阜・滋賀周遊観光振興に  
よる広域的地域活性化計画  
(長浜市南部、米原市)

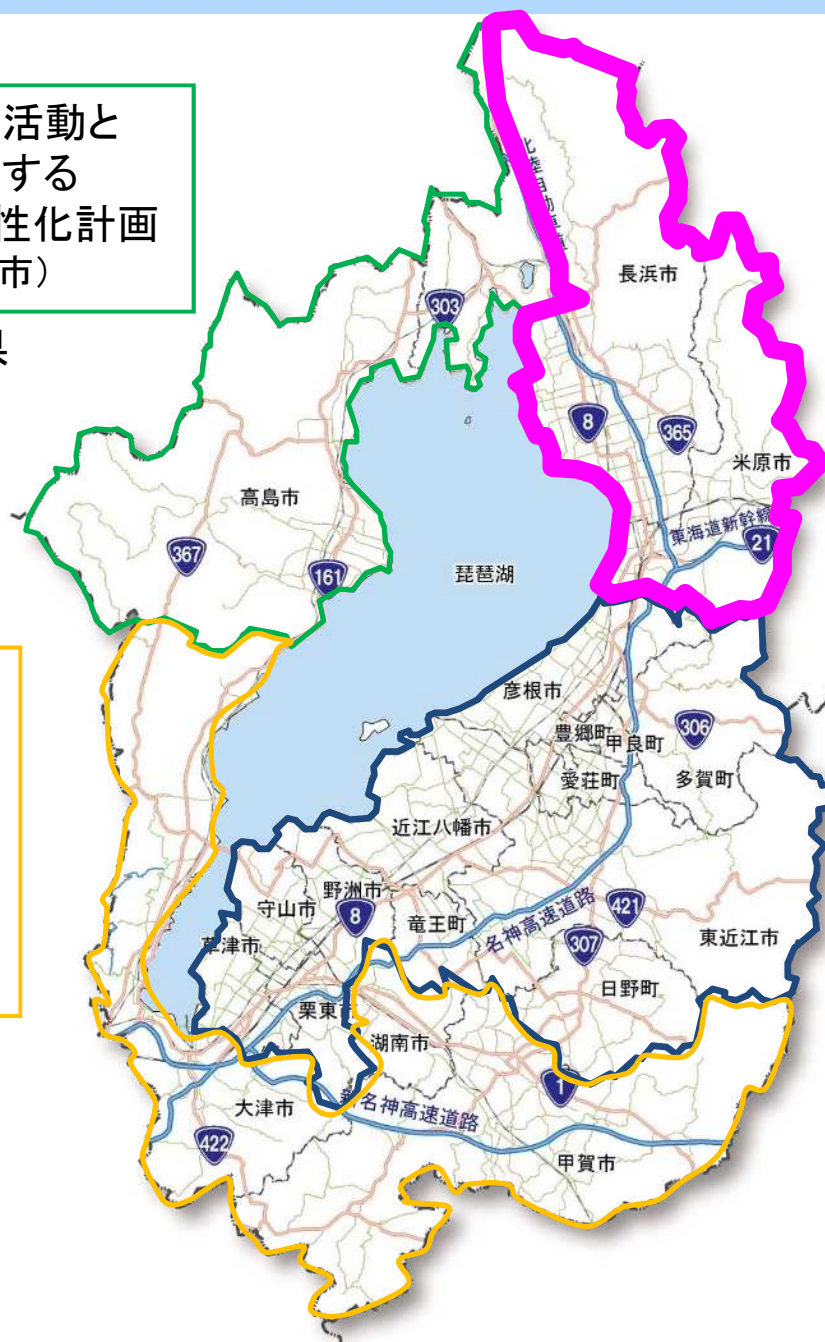
連携先: 岐阜県

京奈和自転車道とビ  
ワイチを基軸とした歴  
史・文化を体感する自  
転車周遊による広域  
観光活性化計画  
(大津市、草津市、守山  
市、甲賀市)

連携先: 京都府、  
奈良県、和歌山県

三重・滋賀交流圏域における  
広域観光活性化計画  
(彦根市、近江八幡市、草津市、  
守山市、栗東市、野洲市、東近江  
市、日野町、竜王町、愛荘町、  
豊郷町、甲良町、多賀町)

連携先: 三重県



※令和4年4月1日時点

# ◆滋賀県・岐阜県の広域連携事業の概要

【広域連携事業】

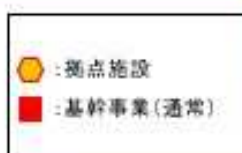
【岐阜県、滋賀県】

## 霊峰伊吹山と天下分け目の武将の息吹を感じる、岐阜・滋賀周遊観光振興による広域的地域活性計画

### 計画の概要

岐阜県岐阜・西濃地域、滋賀県湖北地域は、霊峰「伊吹山」の麓で繰り広げられた関ヶ原の戦いを代表とする戦国時代の歴史を継承する観光資源や自然、スポーツ関連などの郊外型観光施設が多数存在する。両地域は中部北陸圏の知名度向上を図る「昇龍道プロジェクト」の構成地域に属し、高速道路を基軸とした観光客の誘致に力を注いでいるところであり、これまで魅力的な観光資源が交通の不便さにより逃避されていたが、名神高速道路、北陸自動車道が整備され、さらに東海環状自動車道西回りの整備も進み、霊峰「伊吹山」を中心とした周遊ルートが確立されつつある。これらの広域交通ネットワークを生かし、さらに本計画において一部を補うことで、周遊観光の推進や、両地域で行われている戦国武将を利用した観光活動に合わせて社会資本整備を地域の活性化をさらに推進する。

### 位置図



### 計画期間

・令和2年度～令和6年度

### 目標を定量化する主な指標

・観光入込客数の増加  
H30 2,659万人 → R6 3,066万人  
(407万人増)

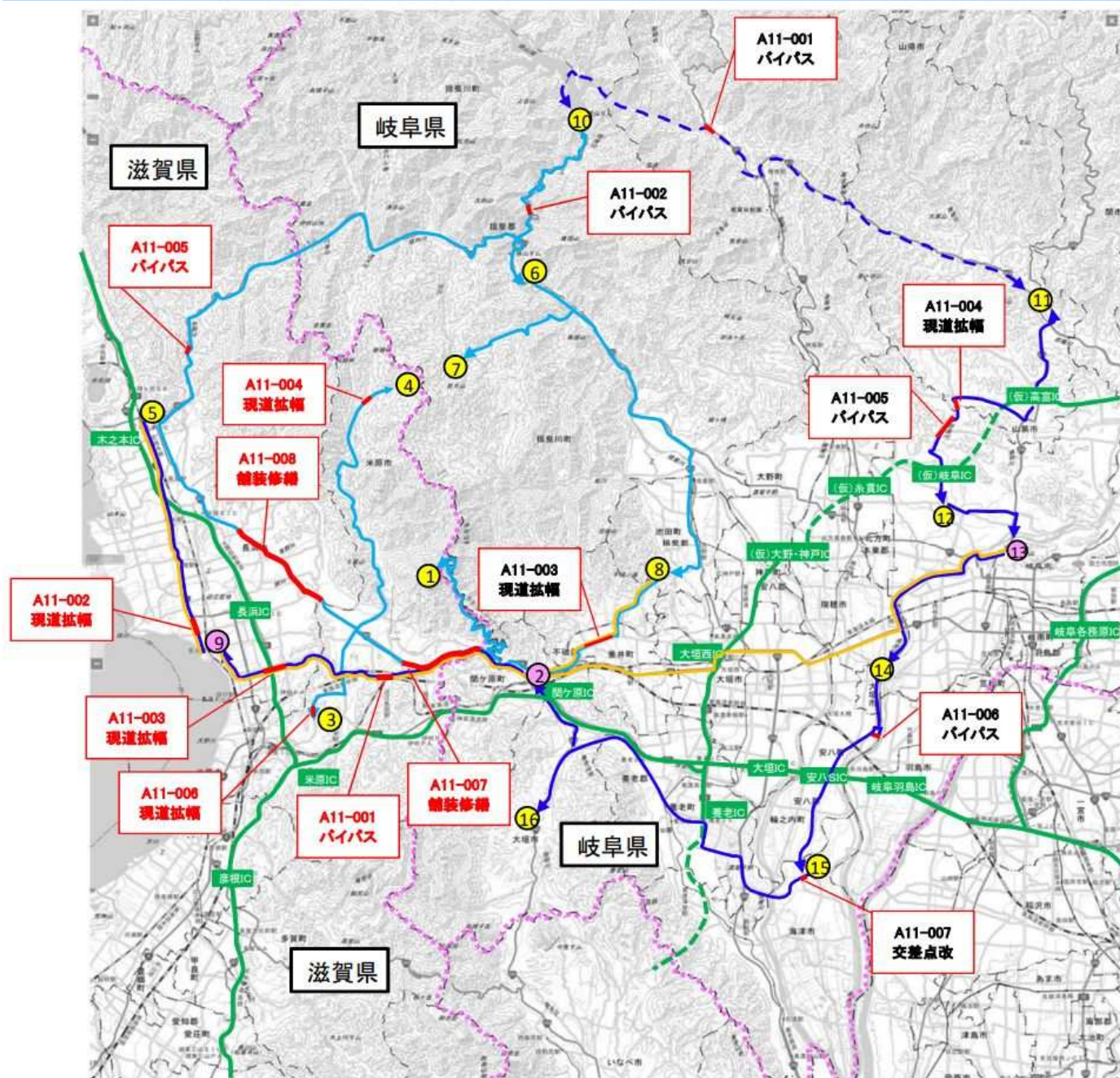
### 主な事業

・観光拠点へのアクセス向上のための道路整備





# ◆滋賀県・岐阜県の広域連携事業の概要



| 拠点施設【伊吹山連携】 |                        |
|-------------|------------------------|
| 1           | 伊吹山                    |
| 3           | ローザンベリー多和田             |
| 4           | 奥伊吹スキー場<br>・奥伊吹モーターパーク |
| 6           | 道の駅 星のふる里ふじはし          |
| 7           | 揖斐高原貝塚リゾート             |
| 8           | 池田温泉                   |

| 拠点施設【関ヶ原歴史連携】 |           |
|---------------|-----------|
| 2             | 関ヶ原古戦場    |
| 9             | 北国街道 長浜宿  |
| 5             | 北国街道 木之本宿 |
| 10            | 徳山ダム      |
| 11            | 桔梗塚       |
| 12            | 黒野城跡公園    |
| 13            | 岐阜公園      |
| 14            | 墨俣一夜城     |
| 15            | 千代保稲荷神社   |
| 16            | 西高木家陣屋跡   |

| <凡例>  |                 |
|-------|-----------------|
| ----- | 県境              |
| ---   | 要素事業            |
| ●     | 拠点施設(通常計画)      |
| ●     | 拠点施設(重点計画)      |
| ---   | 周遊等ルート(伊吹山連携)   |
| ---   | 周遊等ルート(関ヶ原歴史連携) |
| ---   | 周遊ルート(重点計画)     |



# ◆中間評価の実施

## 滋賀県公共事業等計画評価実施要綱

### 第3 中間評価および事後評価の内容

1 知事は、次に掲げる事項について**中間評価**を行うものとする。

- (1) **事業の進捗状況**
- (2) **事業効果の発現状況**
- (3) **評価指標の目標値の実現状況**

2 知事は、次に掲げる事項について事後評価を行い、今後の方針の案を作成するものとする。

- (1) 事業の進捗状況
- (2) 事業効果の発現状況
- (3) 評価指標の目標値の実現状況

中間評価にて主要な事業を選定

(4) **主要な事業**に関する次の事項

- ア 事業を巡る社会経済情勢等の変化
- イ 事業採択時の費用対効果分析の要因の変化
- ウ コスト縮減および代替案立案等の可能性
- エ その他必要と考えられる事項

# ◆要綱第3-1-(1) 事業の進捗状況 Pa54

霊峰伊吹山と天下分け目の武将の息吹を感じる、岐阜・滋賀周遊観光振興による広域的地域活性計画

- 路線名 : 国道303号(音羽工区)
- 箇所 : 長浜市木之本町音羽
- 事業期間: 令和2～ 令和6年度
- 事業内容: バイパス道路整備
- 事業延長: L=700 m
- 全体事業費: 7億4000万円

## 事業効果

幅員狭小と線形不良区間の**解消**により、  
拠点施設への**アクセス性が向上**

→ 令和5年度完了予定

至 木之本市街



至 岐阜県



# ◆要綱第3-1-(2) 事業効果の発現状況 Pa54

霊峰伊吹山と天下分け目の武将の息吹を感じる、岐阜・滋賀周遊観光振興による広域的地域活性計画



- 路線名 : 国道365号
- 箇所 : 藤川・杉澤工区
- 事業期間: 令和2～ 令和6年度
- 事業内容: 舗装修繕
- 事業延長: L=5.5 km
- 全体事業費: 2億7500万円

## 事業効果

舗装修繕により、拠点施設への  
**快適性、安全性の向上**

→ **令和6年度全区間完了予定**



# ◆要綱第3-1-(3) 評価指標の目標値の実現状況 Pa54

霊峰伊吹山と天下分け目の武将の息吹を感じる、岐阜・滋賀周遊観光振興による広域的地域活性計画



## ■計画の成果目標

- 岐阜県(岐阜・西濃地域)と滋賀県(湖北地域)における観光客数  
2,659万人(H30) ⇒ 3,066万人(R6) (407万人(15%)の増加)
- 滋賀県(湖北地域)における観光客数  
844万人(H30) ⇒ 886万人(R6) (42万人(5%)の増加)

### 【岐阜県(岐阜・西濃地域)と滋賀県(湖北地域)における観光客数】

|            | 目標値     | 実績値     |
|------------|---------|---------|
| 当初(H30)    | —       | 2,659万人 |
| 中間年(R3年度末) | 2,863万人 | 592万人※  |
| 最終年(R6年度末) | 3,066万人 |         |

※緊急事態宣言の発令により  
岐阜県の観光入込客数は  
令和3年度欠測

目標未達成

### 【滋賀県(湖北地域)における観光客数】

|            | 目標値   | 実績値   |
|------------|-------|-------|
| 当初(H30)    | —     | 844万人 |
| 中間年(R3年度末) | 865万人 | 592万人 |
| 最終年(R6年度末) | 886万人 |       |

目標未達成

➡ 中間年は、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、「**目標未達成**」

➡ アフターコロナの**観光拠点の活性化**に向け、引き続き**事業進捗を実施**



# ◆ 主要な事業の選定について Pa54

霊峰伊吹山と天下分け目の武将の息吹を感じる、岐阜・滋賀周遊観光振興による広域的地域活性計画



## 要件

- ① 計画最終年度(R6)において事業採択後5年以上を経過した時点で未着工の事業
- ② 計画最終年度(R6)において事業採択後10年以上経過し継続中の事業  
※ただし、維持管理に係る事業を除く

※「事業採択」とは国庫補助事業については「国の事業採択通知を受け事業費が予算化された時点」、単独事業については、「詳細設計に着手した時点」

※「未着工の事業」とは「用地買収手続きと工事のいずれにも着手していない事業」



- ①の要件の事業 : なし
- ②の要件の事業 : なし

➡ 主要な事業なし

# ◆中間評価まとめ Pa54

霊峰伊吹山と天下分け目の武将の息吹を感じる、岐阜・滋賀周遊観光振興による広域的地域活性計画



## ○まとめ

### ①事業の進捗状況

国道303号(音羽工区)の事業進捗の確認をおこなった。

➡事業については、令和5年度に完了見込みである。

### ②事業効果の発現状況

国道365号の舗装修繕事業について、一部事業完了したことにより、

➡拠点施設への快適性の向上に寄与した。

### ③評価指標の目標値の実現状況

#### ③-1 岐阜県(岐阜・西濃地域)と滋賀県(湖北地域)における観光客数

中間目標値2,863万人に対し、現状592万人

(緊急事態宣言により岐阜県は欠測)

#### ③-2 滋賀県(湖北地域)における観光客数

➡ 中間目標値865万人に対し、現状592万人

新型コロナウイルス感染症の影響もあり、目標未達成であったが、

アフターコロナの観光拠点の活性化に向け、事業を推進する。

### ④主要な事業の選定について

➡要件に該当する事業がないため、主要な事業は選定しない。



# ◆滋賀県の広域連携事業の地域図

海山湖の魅力を地域活動と  
広域交通網で向上する  
福井・滋賀広域観光活性化計画  
(長浜市北部、高島市)

連携先: 福井県

霊峰伊吹山と天下分け目の  
武将の息吹を感じる、  
岐阜・滋賀周遊観光振興に  
よる広域的観光活性化計画  
(長浜市南部、米原市)

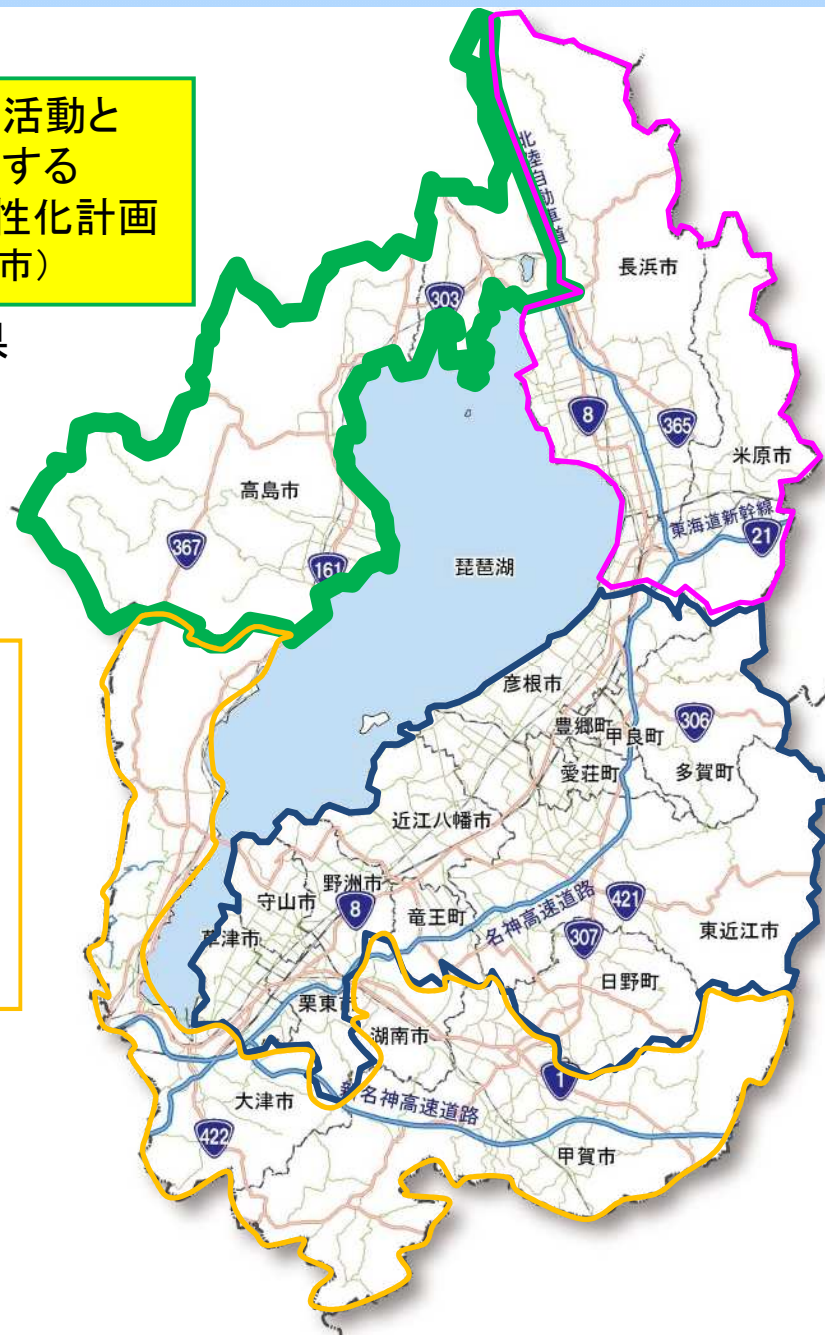
連携先: 岐阜県

京奈和自転車道とビ  
ワイチを基軸とした歴  
史・文化を体感する自  
転車周遊による広域  
観光活性化計画  
(大津市、草津市、守山  
市、甲賀市)

連携先: 京都府、  
奈良県、和歌山県

三重・滋賀交流圏域における  
広域観光活性化計画  
(彦根市、近江八幡市、草津市、  
守山市、栗東市、野洲市、東近江  
市、日野町、竜王町、愛荘町、  
豊郷町、甲良町、多賀町)

連携先: 三重県



# ◆滋賀県・福井県の広域連携事業の概要

【広域連携事業】

【福井県、滋賀県】

## 海山湖の魅力を地域活動と広域交通網で向上する福井・滋賀広域観光活性化計画

### 計画の概要

福井県嶺南地域と滋賀県湖北・湖西地域は、福井県と滋賀県の県境に位置する地域であり、若狭湾と琵琶湖といった豊かな自然に囲まれた地域性を活かすため、両県と複数市町で構成する協議会が設立されており、広域的な観光マップの作成や観光PRなどを一体地域として取り組み、観光客の誘致に力を注いでいるところである。また、北陸新幹線（金沢～敦賀）延伸（2023年春開業）を控え、首都圏や訪日旅行者の観光誘致のための取り組みも協議会により活発におこなわれているため、新幹線による広域交通網を活かし、さらに本計画において一部を補うことで、地域の観光活動に合わせた社会資本整備により地域の活性化をさらに推進する。



### 計画期間

・令和2年度～令和6年度

### 目標を定量化する主な指標

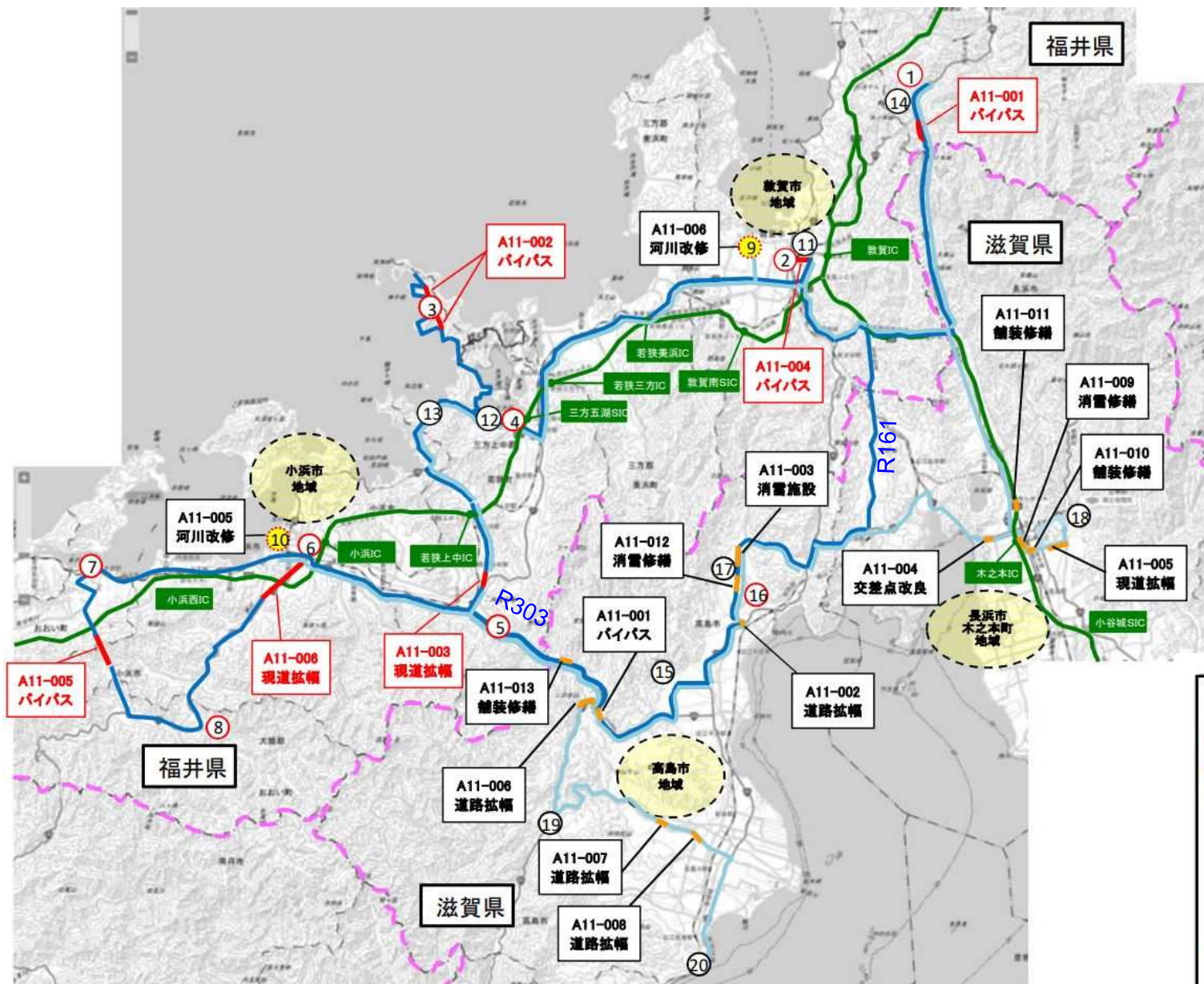
・観光入込客数の増加  
H30 1,544万人 → R6 1,681万人  
(137万人増)

### 主な事業

・観光拠点へのアクセス向上のための道路整備



# ◆ 滋賀県・福井県の広域連携事業の概要



## 滋賀県

| 拠点施設 |                   |
|------|-------------------|
| 15   | 箱館山スキー場・びわこ箱館山ゆり園 |
| 16   | マキノ農業公園マキノビックランド  |
| 17   | マキノ高原・マキノ高原温泉さらさ  |
| 18   | 己高閣・世代閣           |
| 19   | 道の駅 くつき新本陣        |
| 20   | 白鬚神社              |

## 福井県

| 拠点施設 |                |
|------|----------------|
| 1    | 板取宿            |
| 2    | 敦賀市本町商店街       |
| 3    | 若狭町町みさき漁村体験施設  |
| 4    | 道の駅「三方五湖」周辺施設群 |
| 5    | 若狭鯖街道熊川宿       |
| 6    | 若狭歴史博物館        |
| 7    | うみんびあ大飯        |
| 8    | ハヶ峰家族旅行村       |
| 9    | こどもの国          |
| 10   | 道の駅若狭おばま       |
| 11   | JR敦賀駅          |
| 12   | 縄文ロマンパーク       |
| 13   | 福井県海浜自然センター    |
| 14   | 今庄365スキー場      |

| <凡例>  |            |
|---|------------|
|  | 県境         |
|  | 要素事業(重点)   |
|  | 要素事業(通常)   |
|  | 拠点施設(重点)   |
|  | 拠点施設(通常)   |
|  | 重点地区       |
|  | 周遊等ルート(重点) |
|  | 周遊等ルート(通常) |



# ◆要綱第3-1-(1) 事業の進捗状況 Pa55

海山湖の魅力を地域活動と広域交通網で向上する福井・滋賀広域観光活性化計画

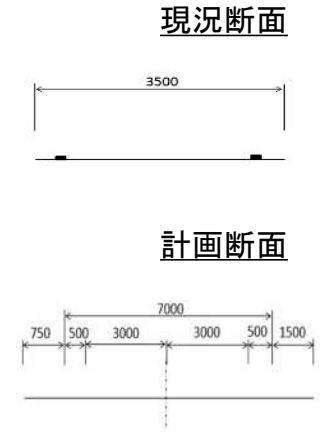
- 路線名 : 小荒路牧野沢線(沢工区)
- 箇所 : 高島市牧野町沢
- 事業期間: 令和2～ 令和6年度
- 事業内容: 現道拡幅
- 事業延長: L=200 m
- 全体事業費: 3億2000万円

## 事業効果

幅員狭小、高さ制限の**解消**により、  
 拠点施設への**アクセス性が向上**  
 →令和5年度より工事着手



京都新聞(R4.9.22)





# ◆要綱第3-1-(2) 事業効果の発現状況 Pa55

海山湖の魅力を地域活動と広域交通網で向上する福井・滋賀広域観光活性化計画



- 路線名 : 小荒路牧野沢線
- 箇所 : 白谷工区
- 事業期間: 令和2年度
- 事業内容: 消雪装置
- 事業延長: L=800m
- 全体事業費: 3.0億円

## 事業効果

消雪設備の修繕により、  
積雪時の拠点施設への  
**快適性、安全性が向上**



# ◆要綱第3-1-(3) 評価指標の目標値の実現状況 Pa55



海山湖の魅力を地域活動と広域交通網で向上する福井・滋賀広域観光活性化計画

## ■計画の成果目標

- 福井県(福井・嶺南地域)と滋賀県(湖北・湖西地域)における観光客数  
1,544万人(H30) ⇒ 1,681万人(R6) (137万人(9%)の増加)
- 滋賀県(湖北・湖西地域)における観光客数  
1,079万人(H30) ⇒ 1,133万人(R6) (54万人(5%)の増加)

### 【福井県(嶺南地域)と 滋賀県(湖北・湖西地域)における観光客数】

|            | 目標値     | 実績値      |
|------------|---------|----------|
| 当初(H30)    | —       | 1,544万人  |
| 中間年(R3年度末) | 1,613万人 | 1,380万人※ |
| 最終年(R6年度末) | 1,681万人 |          |

目標未達成

### 【滋賀県(湖北・湖西地域)における観光客数】

|            | 目標値     | 実績値     |
|------------|---------|---------|
| 当初(H30)    | —       | 1,079万人 |
| 中間年(R3年度末) | 1,106万人 | 734万人   |
| 最終年(R6年度末) | 1,133万人 |         |

目標未達成

➡ 中間年は、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、「**目標未達成**」

➡ アフターコロナの**観光拠点の活性化**に向け、引き続き**事業進捗を実施**



# ◆ 主要な事業の選定について Pa55

海山湖の魅力を地域活動と広域交通網で向上する福井・滋賀広域観光活性化計画



## 要件

- ① 計画最終年度(R6)において事業採択後5年以上を経過した時点で未着工の事業
- ② 計画最終年度(R6)において事業採択後10年以上経過し継続中の事業  
※ただし、維持管理に係る事業を除く

※「事業採択」とは国庫補助事業については「国の事業採択通知を受け事業費が予算化された時点」、単独事業については、「詳細設計に着手した時点」

※「未着工の事業」とは「用地買収手続きと工事のいずれにも着手していない事業」



- ①の要件の事業 : なし
- ②の要件の事業 : なし

➡ 主要な事業なし

# ◆中間評価まとめ Pa55

海山湖の魅力を地域活動と広域交通網で向上する福井・滋賀広域観光活性化計画



## ○まとめ

### ①事業の進捗状況

- ➡ 小荒路牧野沢線(沢工区)の事業進捗の確認をおこなった。  
事業については、令和5年度に完了見込み。

### ②事業効果の発現状況

- ➡ 小荒路牧野沢線の消雪装置修繕事業について、事業完了したことにより、拠点施設への快適性の向上に寄与した。

### ③評価指標の目標値の実現状況

#### ③-1 福井県(嶺南地域)と滋賀県(湖北・湖西地域)における観光客数

中間目標値1,613万人に対し、現状1,380万人

#### ③-2 滋賀県(湖北・湖西地域)における観光客数

中間目標値1,106万人に対し、現状734万人

- ➡ 新型コロナウイルス感染症の影響もあり、目標未達成であったが、アフターコロナの観光拠点の活性化に向け、事業を推進する

### ④主要な事業の選定について

- ➡ 要件に該当する事業がないため、主要な事業は選定しない。